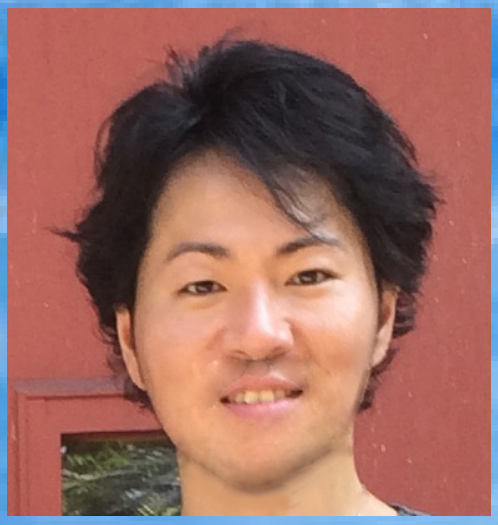
がん細胞間の転写不均一性と薬剤抵抗性のエピジェネティック制御

8 月 22 日（水）18：30ー

外来棟 5 階会議室B



日野原　邦彦　先生

Dana-Farber

Cancer Center/Polyak Lab/research fellow

日野原先生は 2009 年に東京医科歯科大学大学院にて理学博士を取得後、東京大学医科学研究所にて、宮野教授、後藤准教授、東條教授のグループにて乳がん研究をスタートされました。2010 年より特任助教に昇進し、乳がんの腫瘍内不均一性の研究に従事し、CD44highCD24low 乳がん細胞の維持に関わるシグナル経路を同定されました。2014 年より Dana-Farber がん研究所の Dr. Polyak lab に留学され、本セミナーでは、ヒストン脱メチル化酵素 KDM5 による乳がん細胞の転写不均一性と薬剤抵抗性の制御機構について紹介していただきます。さらにシングルセルバーコーディングによる薬剤抵抗性クローンの同定についても触れていただき、新しいテクノロジーを用いた薬剤耐性研究への取り組みをご紹介いただきます。

お問合せ先　乳腺外科教授室　内線３６６０